



シトラスリボン・プロジェクトについて知っていますか？

シトラスリボンは2020年4月、コロナによる医療従事者や感染者への差別などに違和感を持った愛媛県内の大学教授らが発案しました。名称は県特産のかんきつ類にちなんでいて、飾り結びを参考にデザインされた三つの輪のリボンは「**地域・家庭・職場（学校）**」を表現しています。コロナ禍であっても「ただいま」「おかえり」と言い合える環境づくりを目指しています。お隣の浜田市では、手芸愛好家らが「シトラスリボン in 浜田」を結成して、地元大学生や子育て中の女性を中心に同市下府町のコミュニティースペース「hamairo（ハマイロ）」で制作に取り組み、市役所窓口や公民館などに置いてもらっています。

本校でもこの運動に賛同し、生徒会およびS（ソロプチミスト）クラブが中心となって、シトラスリボンの製作を始めました。誰しも新型コロナウイルスの感染は怖いものですが、過剰な反応や疑心暗鬼から生じる心無い発言や行動をしてしまったり、差別につながるようなことにならないよう、寛容の心と他者への信頼、人間愛に基づいた行動ができるよう気を付けていきましょう！



ただいま、おかえりって言いあえるうちに

みんなで
広げよう、
シトラスリボン
プロジェクト。



Citrus
Ribbon
PROJECT

当たり前と思っていた「ふだんの暮らし」を揺さぶっているCOVID19。今や、どこにいても何をしても、いつだって

れだって感染のリスクはゼロではありません。

感染拡大を防ぐためには、さらなる「行動変容」が必要になると同時に、だれもが、少しでも心のびやかに暮らせるようなまちのあり方が、今こそ問われているのかもしれない。

ウイルス感染拡大阻止は、もちろん大事です。経済対策も大事です。でももうひとつ、忘れてはならないことは、たとえウイルスに感染してしまっても、地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せるということの大切さです。

「ただいま」「おかえり」。お互いにそんなふうに言いあえる、受け止める空気であってこそ、安心・安全が守られるまちなのだと思います。わたしたちの暮らしを守るために日々奮闘しておられる方々への感謝も込めて、「ただいま」「おかえり」って言いあえるひとの輪を、ここ愛媛から。

Citrus Ribbon PROJECT

シトラス色（柑橘をイメージした色）のリボン・紐などをつくる「シトラスリボン」。このリボンや紐を付けて賛同の気持ちを表現しています。全国に活動の輪が広がっている様子は、下記サイトでご紹介。シトラスリボンの作り方なども掲載しています。

Facebook: citrusribbonfromhime
お問い合わせ: citrusribbonfromhime@gmail.com 090-5270-1291



Citrus Ribbon
PROJECT

- 1 シトラスカラー（柑橘をイメージした色）のリボン・紐などを準備します。リボンの色や材質はあなたの創意工夫で。
- 2 その材料で「地域・家庭・職場（or 学校）など」を示す「三つの輪」をつくれば、「シトラスリボン」のできあがり。結び方は「飾り結び」「総角結び」などと呼ばれるものを参考に。（結び方動画 → YouTube「シトラスリボンプロジェクト」）
- 3 この「シトラスリボン」を身に着けたり、おうちの玄関や郵便受けなどに掲示してみたりしてください。周りの方々に「元気ですか？」「また会いましょう！」のことばとともに贈りあうのもよいかもしれません。
- 4 あなたがつくったシトラスリボンの写真にハッシュタグをつけてSNSでも発信していただけたら、なおります。#ただいま #おかえり #ついでにいえるうちに #シトラスリボンプロジェクト #citrusribbonfromhime #COVID19 #コロナに負けるな

（引用） <http://citrus-ribbon.com/>